

科目名		授業形態	担当教員名		
身体障害作業療法Ⅱ		講義	中田 修 ・宮下 悠紀 ・久保 周平 福林 秀幸 ・小田 佳子		
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期	
60 時間 （ 4 単位）		30 回	2 年次	通年	
授業の目的・概要					
身体障害分野の作業療法の中で、前期では関節リウマチ・脊髄損傷・筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症について学ぶ。各疾患の患者に対して作業療法士としてどのように関わるかを理解する。上記疾患の患者を担当した際に、的確なかかわりを持つことができるようになることを目指す。また後期では装具作成や物理療法の実習を行うとともに、整形外科疾患の作業療法について学ぶ					
授業の到達目標					
1. 各疾患の特徴を説明できる 2. 各疾患患者に対して作業療法士としてどのようにかかわるのかを自分の言葉で説明できる 3. 患者の疾患に合わせた装具を制作することができる					
授業計画					
回	内容				
1	関節リウマチの特徴 【前期：中田】	16	上肢末梢神経麻痺について 【久保】		
2	関節リウマチの作業療法評価	17	上肢の末梢神経麻痺の作業療法 【久保】		
3	関節リウマチの治療的介入①	18	手指腱損傷の作業療法 【久保】		
4	関節リウマチの治療的介入②	19	熱傷の作業療法 【小田】		
5	福祉機器展見学(テーマ:関節リウマチの生活障害に対する自助具作成)①	20	骨折の作業療法 【小田】		
6	福祉機器展見学(テーマ:関節リウマチの生活障害に対する自助具作成)②	21	加齢性整形疾患の作業療法 【小田】		
7	脊髄損傷の特徴	22	肩の障害の作業療法 【小田】		
8	脊髄損傷の作業療法評価(zancolli、ASIA、フランケル分類など)	23	スプリント療法の概要 【宮下】		
9	脊髄損傷の障害部位別ADL①(損傷部位ごとのADL)	24	スプリントの製作（背側カックアップスプリント①） 【宮下】		
10	脊髄損傷の障害部位別ADL②(ADL別のできること)	25	スプリントの製作（背側カックアップスプリント②） 【宮下】		
11	脊髄損傷の作業療法における治療的介入①(動作訓練)	26	スプリントの製作（短対立スプリント①） 【宮下】		
12	脊髄損傷の作業療法における治療的介入②(環境制御と自助具の工夫)	27	スプリントの製作（短対立スプリント②） 【宮下】		
13	筋萎縮性側索硬化症の特徴と作業療法評価	28	スプリントの製作（ジョイントジャックスプリント） 【宮下】		
14	筋萎縮性側索硬化症の作業療法における治療的介入	29	物理療法 【福林】		
15	多発性硬化症の特徴と作業療法における治療的介入	30	物理療法 【福林】		
成績の評価法と基準					
種別	割合（前期）	評価基準・その他備考		割合（後期）	評価基準・その他備考
定期試験	90%	上記の授業の到達目標がどの程度達成できたかで評価する。		70%	上記の授業の到達目標がどの程度達成できたかで評価する。
レポート	10%	福祉機器展での関節リウマチの自助具作成に関するレポートで評価する。			
小テスト					
平常点					
その他				30%	スプリント作成の結果で評価を行う
自由記載					
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
標準作業療法学 身体障害作業療法学 第3版			岩崎テル子 編集		医学書院
標準作業療法学 作業療法評価学			岩崎テル子 編集		医学書院
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
自由記載					
備考					
授業予定は前後することがある。					